



袋高通信

あいのだより

'22 5月号

令和4年5月20日発行

通巻第184号

静岡県立袋井高等学校

着任の挨拶に代えて



校長
須藤 秀幸

一年生の保護者の皆様、お子様の御入学おめでとうございます。二年生、三年生の保護者の皆様、お子様の上級学年への御進級おめでとうございます。

挨拶が遅れましたが、この四月に本校に赴任してまいりました校長の須藤と申します。かつては国語の教員として教壇に立っております。生徒・職員合わせて千人近くが乗り組む「袋井高校丸」という巨大船を時代の変化という潮の流れを見ながら、適切な進路に向けて無事に航海させることが校長の一番の仕事だと考えております。ただ、その責任の重さに足がすくむ思いがします。ぜひ温かい応援とアドバイスをお願いいたします。話は変わりますが、私の好きな言葉に「疾風に勁草を知る」というのがあります。「風が弱いときは強い草も弱い草も同じように立っているが、強風が吹くこ

とで弱い草が倒れ本当に強い草の在りかを知ることができる」という意味だそうですね。困難や未知のものに直面したとき、見ない振りをしたり、先送りしたり、人任せにしたりすることなく風に向かって立っていられるかを自分に問うための自戒の言葉としています。

未知のウイルスの出現、不条理な戦争の勃発、ICTの急激な進歩による社会のパラダイム転換、経済の低迷等次から次と大きな課題が襲ってくる現代はまさに「疾風」の時代と言ってよいでしょう。やがて生徒諸君は社会に出て、これらの諸課題や予想もなかった未知の問題に嫌が上でも直面することになるでしょう。そのとき、そういう難しいことは誰かどこかの偉い人が考えてくれるに違いないと人任せにするか、それとも自分が向き合うべき問題と考えるかでその後の人生は大きく変わってくると思います。世界は解決されていない課題や未知のものに溢れています。それらに正面から向き合ったり、自ら未知なるものを発見しに行ったりするのも一興だと思いませんか。



教務課より

教務課

今年度の袋井高校

令和四年度は、一年生二七四名（男子一五二名、女子一二二名）、二年生二四三名（男子一三〇名、女子一一三名）、三年生二七九名（男子一四〇名、女子一三九名）、合計七九六名（男子四二二名、女子三七四名）でスタートしました。また、今年度ですべての学年が七クラスとなり、合計二クラスとなりました。このうち、二年生は文型四クラス、理型三クラスで、文理ともに特進クラスを一クラスずつ設置しました。三年生は文型五クラス、理型二クラスとなり、文型は更に私立大学進学志望の文I二クラス、国公立大学進学志望の文II三クラス（内特進クラス一クラス）に分かれています。

新学習指導要領がスタート

また、今年の一年生から、高校では新学習指導要領に基づく学びがスタートしました。教育課程が大きく変わるだけでなく、観点別評価も始まります。主に、学力の三要素といわれる「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」の三観点から評価されます。これまでのように、暗記に頼った定期テスト対策では通用しないということです。変化の激しい社会に対応できる真の学力を身につけることが求められます。

新年度を迎えて

そこです。一年生は学習の習慣を身につけましょう。通学方法や時間、授業内容などですが、最初が肝心です。予習・復習等家庭での学習をしっかりやって授業に臨みましょう。

二年生は、文型、理型に分かれた学習が始まりました。自分の得意科目を伸ばす最大のチャンスです。自分の得意・不得意や興味・関心を見極めて、自分が進むべき方向を見つけてほしいと思います。

いと思います。また、この一年は、部活動や学校行事で学校の中心となって活動することが増えてきます。時間を有効に使って、学習と部活動の両立を目指してください。

三年生は、いよいよ高校生活の集大成として自らの進路実現を図る年です。目標を達成するために、今何をやらなければならないかを考えて、着実に実行してください。大学受験で最後に頼りになるものは、自分自身です。自分がどれだけがんばってきたかということが、自分を支えてくれます。

皆さんが、袋井高校の生徒として誇りを持ち、自らの行動を律し、後悔のない充実した高校生活を送ってくださることを期待しています。

（教務課長 西尾奈緒美）

進路課より

進路課

二〇二二年度入試結果

今年の入試では、文系特進と理系特進あわせて、国公立大学の合格者は三十一人（文系一七人、理系一四人）でした。

県内の大学では、静岡大学に八人、静岡県立大学に十人、静岡文化芸術大学に二人という結果でした。二年目を迎えた共通テストが難化し、予想ボーダー得点率が大きくダウンする中、全国の出願状況を冷静に分析し合格を勝ち取る生徒や、最後までチャレンジする姿勢を貫き、中・後期試験で合格を勝ち取った生徒もいました（中・後期五名）。

また、名古屋大（工）や、準難関・地域拠点大である新潟大（農）や東京都立大（法）にも合格しました。

特進クラス以外からも国公立大学に一四名が合格しました。互いに切磋琢磨し、励ましあう環境がこの結果につながったのだと思います。

三年集中学習

三年生の集中学習を八月一日から五日の日程で本校では実施します。昨年度の生徒アンケートに「集中学習期間が終わった後、その前よりも学習時間が増えた」「周りの人が勉強を頑張っているのを見て自分も頑張ろうと思った」とあり、当初の目的に合う学習ができていることが分かります。今年も特進クラスは原則全員参加とし、他のクラスも併せて二〇〇名程度で実施します。「二日一〇時間」、受験勉強の体制作りには最適な機会ですので三年生の積極的な参加を期待します。

補講

今年の三年生の土曜補講は五月七日から始まります。五月三〇日から理社の平日放課後補講もスタートします。部活動引退後の学習習慣作りの一助として、積極的に参加してください。募集期間については「一学期」「夏季」「二学期」に分けて受講希望を取る予定です。学習の進捗状況に応じた受講が可能です。二年生の土曜補講は五月二十一日から、一年生は五月二十八日からです。また、夏季補講は前期のみ五日間です。後日、案内と申込書を配布しますので、積極的に参加してください。

進路室の自習机

進路室では自習机を二十四台設置しています。平日十八時三〇分まで自習できます。学習する雰囲気になった空間を今年も大いに活用してください。なお、赤本などの資料を借りる場合は、貸出ノートに必要事項を記入して二日以内に返却してください。

（進路課長 原田卓彦）

新学期を迎えて

生徒課

新学期が始まって1か月が経過しました。昨年は新型コロナウイルスの影響で、私たちを取り巻く環境は誰もが経験したこと想像したこともない未知のものとなりました。しかし今もまだ新型コロナウイルスの影響で落ち着いた気持ちで学習・運動に取り組めないのが現状です。だからといってやりたいことが何もできないと悲観するのではなく、こういう困難な時ほど自分を高められるように、何もできないでなく、いま何が出来るかを考えて、行動に移してほしいと願っています。

- ・1年生は早く高校生活に慣れ、生活のリズムをつかんでほしいと思います。
 - ・2年生は中堅学年としての自覚を持ち、後輩の指導と自己の生活を充実したものにしたいと思えます。
 - ・3年生は高い進路意識を持つとともに、各部門最後の大会・発表会に向け、悔いの残らないよう頑張ってください。
- 今年度も生徒課は以下の目標を基本として指導していきます。

1 部活動、特別活動でのきめ細やかな支援により、生徒の主体性、自立心の涵養を目指す。

本校の教育の柱は文武両道です。1年生の部活登録も調整段階に入っており、実際に先輩たちとともに活動をしている者も見られ、各部の活動も活気を帯びています。運動部にとつてはどの部も総体予選が制限された中での開催となります。不安な気持ちを持っているのも事実ですが、3年生にとつては最後の大会ということで、今までの練習の成果を発揮して上位を目指して精一杯頑張るとともに、下級生へのバトンタッチをしっかりと行い、良い伝統も引き継いでもらいたいと思います。部活動を通して体や心を鍛えると同時に学業との両立を目指して頑

張ってもらいたいと思います。そして、本校文化祭「緑風祭」ですが、生徒会が一年かけて計画している重要な行事です。また文化部にとつてもこの緑風祭が集大成の場となっており、今年も例年通りの形で開催することはできませんが、生徒の3年間の活動が十分に発表され、生徒全員の思い出に残るよう努めてまいります。

- 2 きれいな教室・廊下、美しい身なり、気持ちの良い挨拶・言葉遣い、大きな声での校歌斉唱を目指す。

特に明るい挨拶や場に合った言葉遣い、マナーの向上に努めさせていただきます。遅刻に気を付けて教室で勉強する習慣をつけてほしいと思います。また、食事と睡眠に留意し、規則正しい生活を心がけてください。年度当初は自転車事故が多発します。特に1年生は中学時代と異なり、通学の距離が長くなり、保護者の皆様にとつては心配のことと思います。音楽を聴きながらの運転や携帯電話を使用しながらの運転は非常に危険で、自転車加害者になる場合もあります。また、並進や一時停止義務違反も非常に危険です。命を守る観点からもマナーを守り、交通法規を守るよう御家庭におかれましては御指導をお願いいたします。

(生徒課長 神原英裕)

総務課の活動

総務課

新会員の皆様には、四月七日入学式後の地区会において、周南地区から監事一名、評議員一六名(浅羽地区、磐田北地区、菊川、御前崎地区の三地区は理事兼任)を選出していただきました。役員・評議員の方々をはじめ会員の皆様には様々

な場面で御手数をお掛けしますが、本校の教育活動の推進、教育環境の整備のため力をお貸しいたできますよう、お願いいたします。

- 【主なPTA行事予定】詳細につきましては、後日御案内させていただきます。
- 五月一日(水) PTA総会、後援会総会※中止
 - 六月一七日(金) 午後 授業参観・PTA地区会・部活動保護者会(一、二年生対象)
 - 九月二日(金) 午後 一学年の学年PTA
 - 九月一六日(金) 午後 二年生の学年PTA
- 【PTA評議員の委員会活動】
- 生徒、保健委員会 学校保健委員会、祭典補導等
 - 広報、研修委員会 緑風祭バザーの運営、写真撮影等
 - 進路委員会 模試監督への協力等

総務課では、防災、奨学金(在校生・進学後)についても担当しております。また、昨年度までの広報課の活動が総務課に加わりました。これまで同様、袋井高校生の活動をお伝えし、学校ホームページの運営、中学生向けのリーフレットや「学校案内」の作成、一日体験入学や公開授業の企画・運営、学校新聞の発行などを行ってまいります。今年度もコロナの感染状況により、様々な行事・活動に制約があると思いますが、生徒たちの学業、学校行事、部活動等に取り組んでいる様子をお伝えしていきます。八月の中学生一日体験入学、十一月の公開授業では、袋井高校の魅力発信できるよう工夫しながら取り組んでいきますので、ぜひ生徒の活動を見に来てください。今後も個人情報に配慮しておりますので、御協力をお願いいたします。

(総務課長 齋藤通也)

ICT教育・研修課の活動

研修課

研修課は教員の資質向上を目的とした様々な研修を統括している分掌です。県総合教育センター（掛川あすなろ）が主体となつて教員を対象とした研修プログラムを企画立案し、それを各高等学校研修課が受け教員に参加を促すという流れになっています。研修内容は多岐に渡り、長期休暇などを利用して教育に関しての包括的な研修が行われています。教員の資質向上は、お子様方の御成長にそのまま還元されるものであるとの考えのもと、積極的な参加が望まれます。

また国際交流の一環といたしましてオーストラリアの姉妹校、トマス・ハッサール・アングリカン・カレッジとの学校訪問を、研修課の主催のもと相互に行つて参りましたが、新型コロナウイルス感染予防の観点から令和4年度も中止とさせていただきます。参加を希望されていた御家庭には大変残念なことです。御了解ください。

さて、ICT教育が本年度より本格実施されます。端末購入の御負担や通信接続の手間など御面倒をおかけしますが文科省の提唱します「GIGA構想」実現には不可欠なことです。御理解ください。ICT教育推進に関しましての御質問、御要望はどうぞ御遠慮なくお申し出ください。

（研修課 久野正幸）

心身の健康と成長のために

保健厚生課

保健厚生課では、保健、教育相談、環境整備、福祉を活動の柱としています。

まず、保健委員会が中心となり、コロナ感染予防対策に引き続き取り組みます。委員の生徒たちは、消毒液や石鹸の補充などの仕事を欠かさず行い、他の生徒たちも感染予防を心がけてくれています。ワクチン接種が徐々に進む一方で、新たな変異株の発見や、10代・20代の若者の感染者急増が憂慮されています。御家庭の方でも、今後とも感染予防に努めていただくようお願いいたします。

次に、教育相談室を紹介させていただきます。本校では、月2回、スクールカウンセラーが来校し、カウンセリングを行っています。話すことで心が楽になることもあれば、解決の糸口が見つかることもあるかもしれません。一人で悩みを抱え込まずに、ぜひご相談下さい。こちらは予約制になりますので、養護教諭または教育相談担当までご連絡下さい。

環境整備につきましては、技能員の方々のご尽力のおかげで広い学校敷地内も大変整えられた状態となっています。本校では、ごみの持ち帰りを原則としており、ごみ箱は教室内に設置されています。今後ともごみの削減に協力をお願いいたします。

最後に、福祉活動ですが、福祉委員会が中心となり、様々な募金活動やボランティア活動、特別支援学校との交流などを行っています。コロナの影響で、活動が制限される場合もありますが、可能な範囲で継続していきたいと考えています。ボランティアについては、心の成長と社会勉強のためにぜひ積極的に役立ててほしいと思います。

（保健厚生課 中村文子）

人の心の「かなしみ」を知るために

図書課

「水戸黄門の印籠」という比喻が高校生に通じなくなつて久しい。代わりに「ジブリ作品」を使った例えや説明は一度で通じる。知識の拠つて立つ地平は時代によって変わっていくのは仕方が無いことなのかもしれない。しかし、仕方が無いでは済まされない大きな変化が今年度の一年生が受ける新課程の学習指導要領によつてもたらされる。

『羅生門』『富岳百景』『山月記』『こころ』『城之崎にて』『山椒魚』『檸檬』『舞姫』などの文学作品は今まで文系・理系問わず国語の時間に扱われ、多くの高校生が読んできた。保護者の皆さんにも読んだ記憶がある方が多いことだろう。新課程では、文学作品を読む機会が大幅に減る。特に理系では、二年生以降文学作品に触れる機会が全く無くなつてしまう。

論理的な文章を読み、内容を素早く把握する。そこから各自で問題点を考察し、自らの考えを発表する。そうした活動も確かに大切なことだ。これからの社会に求められる力なのだろう。しかし、文学作品を通じ、人の心の機微を追体験し、感情が揺すぶられることで培われる「優しさ」や「思いやり」、人の心の「かなしみ」（悲しみ・哀しみ・愛しみ）を理解し、寄り添おうとする心も人間にとつて大切な無くてはならない力であると思う。

国語の授業で読めなくなつてしまふ文学作品を読むためには、意識的に本に触れるしか方法はない。図書館では、そうした状況にある生徒の皆さんの手助けができるようにこれからも努めていくつもりである。

（図書課 戸塚 恵）

1 年 部

主任	副主任	11HR	12HR	13HR	14HR	15HR	16HR	17HR	学年付	学年付
藤井 (英語)	栗田 (地歴・公民)	栗田 (地歴・公民)	古田 (保健体育)	安田 (国語)	森下 (理科)	宮内 (国語)	鮫島 (国語)	木村 (保健体育)	柏木 (英語)	上村 (養護教諭)
		藤澤瑠 (家庭)	久野正勝 (理科)	藤井 (英語)	鈴木教 (数学)	田村 (情報)	横田 (理科)	田原 (数学)	三浦 (保健体育)	

(上段は正担任、下段は副担任)

●本年度の取り組み

1. 高校生としての生活習慣を身に着ける。
2. 知的好奇心を養い、学習スタイルを確立する。
3. 志を立て、将来像を設計する。

●学年主任より

御入学おめでとうございます。生徒は少しずつ学校に慣れながら、学習や部活動に取り組んでいます。1年生は各自のコンピュータ端末を学用品として学校に持ち込むBYODの実施初年度です。授業内外での活用を想定しています。また、今年度は生徒に本校オリジナル手帳が配布されました。どちらも自己管理に有用なツールです。デジタルとアナログの良い部分を見つけていただけたらと思います。今後とも、御理解御協力のほどよろしくお願いいたします。

2 年 部

HR	21HR	22HR	23HR	24HR	25HR	26HR	27HR	学年付
担任 教科 部活	植田 数学 卓球	村松 国語 吹奏楽	山本 地歴公民 水泳	鈴木宏野 地歴公民 バドミントン	鈴木浩之 国語 男子テニス	小谷 英語 女子バレー	竹中 数学 野球	佐藤 保健体育 男子バスケ
副担任 教科 部活	赤堀 英語 国際文化	久野正幸 英語 男子バレー	齋藤 保健体育 サッカー	大石 国語 演劇	西藤 数学 囲碁将棋	榊原 保健体育 陸上競技	喜多 地歴公民 バドミントン	丸山 理科 ダンス

●本年度の取り組み

1. 「自分の進路希望に合ったコース・科目選択ができた」と答える生徒が90%以上。
2. 平均家庭学習時間が、平日2時間以上、休日3時間以上。
3. 「校内外において、袋井高校生として自覚ある行動ができた」と答える生徒が90%以上。

●学年主任より

2学年として委員会や部活動で1年生と接するときの、一生懸命な姿が実に微笑ましく、また頼もしく思う昨今です。生徒のみなさんは、私ども職員があれこれ指示しなくても、進んで役割を果たすことができるようになってきました。今年度は、委員会・部活動で中心になって学校を動かす立場になりますので、一步、また一步と成長していくことを期待します。今年度も学年部一同、精一杯努めます。よろしくお願いいたします。

3 年 部

主任	副主任	31HR	32HR	33HR	34HR	35HR	36HR	37HR
杉浦 (保健体育)	長谷川 (理科)	小林 (地歴・公民)	増田 (国語)	土屋 (英語)	速水 (数学)	伊達 (地歴・公民)	徳野 (数学)	長谷川 (理科)
		戸塚 (国語)	石川 (地歴・公民)	杉浦 (保健体育)	西尾 (国語)	中村 (英語)	原田 (理科)	藤澤 (英語)

学年付き 山崎(保健体育) 河合(数学)

(上段は正担任、下段は副担任)

●本年度の取り組み

1. 「進路資料の検討や学部等の進路決定が自発的、主体的に行えた」と答える生徒が90%以上。
2. 7月以降、平均家庭学習時間が、平日5時間以上、休日10時間以上。
3. 「校内外において、袋井高校生として自覚ある行動ができた」と答える生徒が90%以上。

●学年主任より

「TEAM F」を掲げて、袋井高校というチームを大切に受験生として勝負の1年間としましょう。また「奮励努力」をテーマとして、気力を奮い起こして励み、努力を重ねることで進路実現を目指しましょう。自分の進路は、自分で決めて、自分で行動、自らで切り拓け。私たち教職員は、伴走者として十分なサポートができればと考えています。ぜひ、主体性をもって行動し、悔いのない高校3年生を過ごしましょう。

今年度も学年部一同、精一杯努めていきますので、御理解と御協力をお願いします。

